学校番号	105

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の音楽２（教育芸術社）						
副教材等	箏曲の資料、楽譜						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰに引き続き、「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。特に「楽器」については箏をとりあげます。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２ 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 演奏の聴取(実技試験を含む) ワークシート	演奏の聴取（実技試験を含む） 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本歌曲の魅力	【歌唱】 糸 からたちの花	○	○	○		a:曲想と歌詞の内容、楽曲の背景との関わりを理解し、有節歌曲形式と通作歌曲形式との違いによる効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:速度、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせ、形式を理解し、イメージを持って音楽表現をするために必要な、歌唱の技術を身につけ、個性豊かに表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	箏曲入門①	【器楽＝箏】 基本奏法 さくら かぞえうた	○	○	○		a:箏の基礎的な奏法の特徴に関心をもち、演奏に主体的に取り組もうとしている。 b:日本の音階の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:箏を演奏するために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	箏曲の世界	【鑑賞】 箏曲の作品	○			○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、文楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2学期	歌唱表現の工夫	【歌唱】 君を愛す (グリーグ) 童謡	○	○	○		a:様々な表現形態による歌唱活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:リズム。旋律。強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、歌詞の内容を関わらせ、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽を工夫して、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞の内容と関わらせ、イメージを持って音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歌舞伎の世界	【鑑賞】 歌舞伎の作品	○			○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、文楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	箏曲入門②	【器楽＝箏】 合わせ爪、掻き手 など 糸車 合奏練習曲	○	○	○		a:箏の様々な奏法に関心をもち、演奏に主体的に取り組もうとしている。 b:日本の音階の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:箏を演奏するために必要な様々な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	箏曲入門③	【器楽＝箏】 合奏曲	○	○	○		a:箏の様々な奏法に関心をもち、演奏に主体的に取り組もうとしている。 b:異なった複数の動きを合わせながら自分の役割を知覚し、個々の働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:箏を演奏するために必要な様々な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。